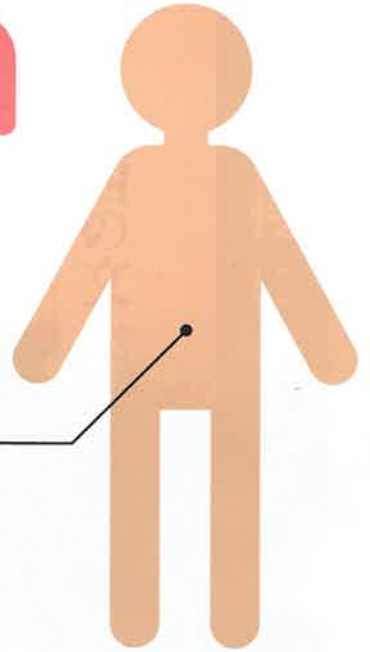


臓器のはなし



今月は たい じょう ほう しん 带状疱疹

抵抗力を維持して ウイルスを抑制

**ウイルスが潜伏
約3人に1人が発症**

带状疱疹は、水ぼうそうと同じウイルスが原因で起こる病気。大半の人が子どものころにかかった経験のある水ぼうそうは、治った後もウイルスは症状を出さない状態で、体内に潜み続けているのです。日本人の成人90%以上の体内に原因となるウ

イルスが潜伏し、80歳までに約3人に1人が発症するといわれます。

その「水痘・带状疱疹ウイルス」は背骨に近い神経に隠れているのですが、加齢や疲労、ストレスなどによって免疫機能が低下すると、再び目覚めて増殖し始めます。そして神経の流れに沿って神経節から皮膚へと移動し、帯状に痛みや発疹が出てきます。これが带状疱疹。ピリピリと針で刺すような痛み、赤い斑点や水ぶくれが顔や首などの上半身に多く現れ、痛みが激しいと夜、眠れない場合も…。重症化すると入院治療が必要となるでしょう。

治療法は、抗ウイルス薬の服用。次第に発疹は消え、皮膚はきれいになりますが、50歳以上で带状疱疹を発症した人の約2割、80歳以上では約3割は、痛みが残る「带状疱疹後神経痛」になる可能性があります。

その場合は痛み止めの薬で対処しますが、効果は人それぞれ、副作用で眠気が強く出たり、立ちくらみが起きるケースも。薬の量を減らすと痛みが慢性的に残り、強い痛みが続いて何もしたくなくなるなど、抑うつ状態に陥る人もいます。

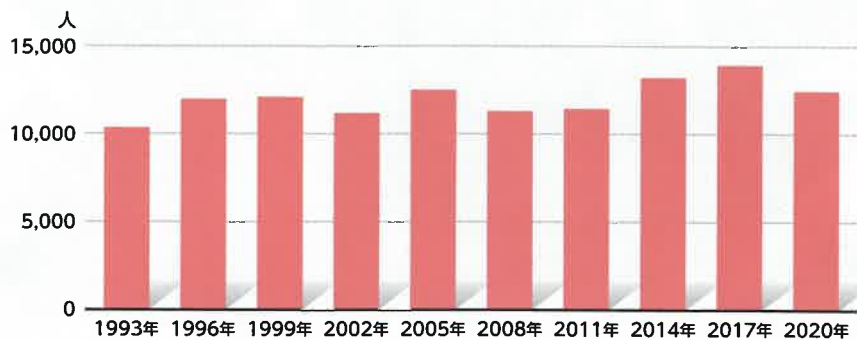
**死に至るのは稀だが
長い間、痛みに悩む人も**

テレビCMなどを通じてご存じの方も多いと思いますが、近年、带状疱疹の発症や重症化を予防するワクチンの接種が推奨されています。現在、日本では2種類のワクチンが承認されており、2回の筋肉注射を行う「乾燥組換え带状疱疹ワクチン（不活化ワクチン）」は、予防効果が96.6%（持続性9年以上）と非常に高い有効性が認められています。

しかしながら、接種者は少ないのが現状です。私の担当患者の中でも、昨年1年間に接種した方は数名でした。一番の理由は、带状疱疹が直接原因となって死亡することは非常に稀だからではないでしょうか。また補助こそありますが、接種費用が高いのもネックだと思います。

带状疱疹の原因は「抵抗力（免疫力）の低下」。普段から十分な睡眠や栄養をとり、適度な運動も行いましょう。他のウイルス性の病気にも当てはまりますが、基本的な生活習慣を守ることで、带状疱疹を抑える一番のポイントなのです。

带状疱疹の患者数



出典：厚生労働省「3年ごとの抽出調査日の患者数」

監修

浅海 直
あさうみ すなお
(医療法人社団 平成医会 産業医)



1993年千葉大学医学部卒。2007年12月まで松戸市立福祉医療センター東松戸病院(内科副部長)、2008年1月より板橋区役所前診療所に勤務。専門分野は糖尿病、脂質異常症、甲状腺疾患等の代謝・内分泌疾患および老年医学。